

第 46 回電子情報化委員会 議事録 (案)

日時：2011 年 4 月 15 日 (月) 15:00～18:00

場所：JCI 会議室 12F

出席者：中村委員長、三木幹事、甲斐、舌間、八十島の各委員

(事務局) 五十嵐専務理事、井上、戸口

資料

46-0：電子情報化委員会 (第 44 回) 議事次第

46-1：第 45 回電子情報化委員会議事録 (案)

46-2：電子情報化委員会 平成 22 年度事業報告 平成 23 年度事業計画

46-3：J-STAGE ジャーナル公開にあたる手順について

46-4：コンクリート工学論文集 HP の扱いについて

46-5：会員専用ページ開設のご案内

46-6：電子公開に関するメールニュースの対応について

46-7：JCI の英語版 HP の現状について

議事

1. 前回委員会議事録 (案) の確認 (三木、資料 46-1)
 - ・ 第 45 回議事録 (案) の内容を確認し、原案を承認した。
2. メールニュース登録者について (事務局)
 - ・ 現状の登録者数 4150 名 (2011 年 4 月現在)。前回委員会 (2 月) より約 130 名増。
 - ・ 技術講習会や研修会などが始まるため、これまで同様に登録案内を配布し、引き続き登録者の増加を図ることとなった。
3. 平成 22 年度事業報告 平成 23 年度事業計画資料 46-2
三木幹事より本委員会の平成 22 年度事業報告とともに、平成 23 年度事業計画についての資料説明があった。この資料は、本年度 JCI 総会に向けて作成したものである。
 - ・ 平成 23 年度の事業計画においては、従来の活動に加え、電子公開に関する検討、作業の具体化、さらに短期、中期、長期における活動項目を示す「アクションプラン 2011」が含まれていることが報告された。
4. J-Stage による電子公開について (事務局戸口氏、資料 46-3)
戸口氏から J-Stage による雑誌論文集等の電子化について報告された。
 - ・ 公開までのスケジュールについて、電子公開は 2012 年 1 月から開始することが報告された。また、具体的な作業は 5 月に J-stage との打ち合わせにて確認することが報告された。
 - ・ 電子公開に伴う既発表論文の取り扱いについて、8 月からの会告にて電子公開を通知するとともに、既発表分も同様に公開していく旨を案内し、年内を目処に掲載の可否の連絡を受け付けることが報告された。
 - ・ 2012 年 1 月には、会誌コンクリート工学 2011 年 1 月号 (ここでは会員のみ閲覧可能、つまり会員は 1 年後、非会員は 3 年後に公開)、コンクリート工学論文集 2012 年 1 月号 (発行後即一般公開) を公開予定であることが報告された。

5. 電子公開について（会誌、コンクリート工学論文集、年次論文集）

5.1 コンクリート論文集（椋山委員、資料 46-4）

椋山委員が作成した資料を三木幹事が代理で説明した。原稿 HP の検索システムと J-stage での論文検索システムの運用方法について、3案が示された。

- ・ 議論の結果、案 3（J-stage での公開に従い、現行 HP を順次縮小）を採用することになった。つまり、今後 J-stage で掲載される論文情報は現行 HP の検索システムには更新せず、J-stage で全論文検索できるまでの移行期間では現行 HP と J-Stage の検索システムを併用する。本件を実行するための具体的な方法を再度まとめることとなった。（担当：椋山委員）
- ・ 現行 HP の検索システムには、論文の題目、著者、キーワード、概要が掲載されている。これらが、J-stage 掲載に必要な情報であるか調査することとなった。（担当：事務局）
- ・ 14 巻以前は現行 HP にも掲載されておらず、今後更新していくことを検討する。
- ・ 過去分（2010 年以前の論文）の公開について、費用面を含めた具体的な方策を検討することとなった。Journal@rchive の早期再開は見込めないため、JCI 独自に J-stage に掲載する作業を実施することを確認した。なお、現状の検索システムでは、年 3 回更新、1 論文あたり約 1000 円程度の費用を要している。今後はこれを廃止でき、さらに会誌、コンクリート工学論文集、年次大会論文集の電子公開に関する費用を総合的に検討することによって、過去分を継続的に更新することができる方策を検討することとなった。（担当：事務局）

5.2 会誌

- ・ 現行 HP の検索システムには、論文の題目、著者、キーワード、概要が掲載されている。これらが、J-stage に必要十分な情報であるか調査する。（担当：事務局）
- ・ 過去掲載分について、掲載記事が多いため、電子公開に関わる予算には工夫が必要である。
- ・ 特集号など、過去分をまとめた掲載が有用である。現状の特集号一覧のページにそれぞれの特集号記事をリンクすることで対応する。

5.3 年次論文集

- ・ 現行検索システムを活用し、体裁は現状通りとする。今後の情報更新には、八十島委員が作成したソフトを使用し、経費削減を図る。
- ・ 会員向けには、会員専用ページにて公開後 1 年の論文を掲載する。一般向けには現状通り 3 年経過後の論文を閲覧可能とすることを再度確認した。

5.4 委員会報告書

- ・ 委員会報告書の電子公開について、報告書は全文 PDF 化し、全文を会員専用ページで公開する。一方、一般向けには、従来通りコピーサービス（有料）にて入手可能であり（本委員会では、この点で公益性は確保できると考える）、会員になると会員専用ページにて全文閲覧可能であることを周知することで、会員のメリットをアピールする。
- ・ 以上のように、委員会報告書を会員専用ページにて公開することを広報普及委員会経由で理事会に向けて提案する。（原案作成担当：田嶋委員）
- ・ 現状では、絶版になった報告書は、コピーサービスを受け付けている。同様にして PDF 化もできると思われるため、論文集の PDF 電子化の費用を調査する。（担当：事務局）

6. 会員専用ページ（八十島委員、資料 46-5）

八十島委員より、会員専用ページ開設の案内、利用方法についての案内掲載文案が示された。

- ・ 会員専用ページの開設の案内については、原案の文言の一部を修正し、各種案内に使用することを認めた。この件について、8月号の会告に掲載し、会員に広く周知することを確認した。なお、意見連絡先のメールアドレスを member@jci-net.or.jp とすることが事務局から提案され、その案通り設定することを確認した。
7. メールニュース（高橋委員、資料 46-6）
- 高橋委員が作成した資料を三木幹事が代理で説明した。
- ・ メールニュースの種類について、電子公開のお知らせはコンクリート工学論文集、ACT について最新号目次等を配信することを確認した。メールニュースでは即時情報を配信するため、公開後 1 年を経て公開する会誌、年次論文集については情報配信しないことを確認した。
 - ・ メールニュースの記事準備について、題目、著者などの確認が必要であり、各担当者が作成するほうが効率がよい。そのため、配信記事の作成は、会誌、論文集の担当事務に依頼することが確認された。各担当者への依頼文の作成は高橋委員が担当する。
 - ・ 電子公開お知らせの配信時期について、例えばコンクリート工学論文集は現状年 3 回（1 月、5 月、9 月）発行しているが、今後どのように論文集を発行していくかも含めて論文集編集委員会の方針に従うことを確認した。メールニュースの配信時期はそれぞれの発行時期によるため、その決定を受けて配信時期を決定する。ACT の配信時期も同様に取り扱うことを確認した。
 - ・ 配信先メールアドレスの取得について、新入会申込み様式にはメールアドレスを記載する箇所を設置予定であることが事務局より報告された。なお、会員情報変更ページにはメールアドレス登録箇所をすでに設置している。
 - ・ 来年度の会費請求書に、メールニュース登録の案内文を同封することを確認した。その内容は、電子公開のお知らせとともに、工学論文集冊子版廃止に伴いメールニュースにて論文題目、著者などを配信するという案内とする。
8. 英語版 HP（浅本委員、資料 46-7）
- 浅本委員が作成した資料を三木幹事が代理で説明した。
- ・ 現状の英語版 HP の問題点を確認した。このうち、リンク間違いの修正、終了した国際会議へのリンク削除等、至急対応できる点は事務局で対応することを確認した。また、英語版資料がある AboutJCI は HP 掲載文の修正も事務局で至急対応することを確認した。
 - ・ 今後の HP の更新については、新たに組織される広報普及委員会内の HP 担当 WG にて対応することを確認した。
9. その他
- ・ 中村委員長より、JCI における本委員会の改組があり、電子情報化委員会は広報普及委員会の下に位置することとなったことが報告された。同時に、JCI の HP 担当 WG が新設され、日本語版、英語版の HP の強化に努めることとなったことが報告された。これを受け、本委員会においても HP 担当 WG を兼務、協力することが確認された。メンバー人選を含め、具体的な作業等は、三木幹事、舌間委員（一般向け HP 担当）が対応することとなった。
 - ・ HP 担当 WG の当面の対応としては、2011 年 7 月会員専用ページ公開、ならびに 2012 年 1 月の J-Stage による電子公開に伴うページレイアウトの編集がある。その他、新コンテンツの作成など、抜本的な更新は HP 担当 WG にて議論してもらうことになる。

10. 次回日程

- ・ 次回は、2011年6月27日（金）15：00から、JCI会議室にて実施する。
- ・ 次回委員会の宿題:各担当者のアクションプラン2011に向けた提案文の作成。各担当、短期、中期、長期の具体的な作業項目を示し、A4、1ページ程度にまとめる。

メールニュース（高橋）

会誌コンクリート工学（兼松）

コンクリート工学論文集（椋山）

コンクリート工学年次論文集（田所）

会員専用ページ・各種電子システム（八十島）

委員会報告書（田嶋）

研究委員会 HP、英語版 HP（浅本）

専門家用 HP（吉岡）

一般用 HP（舌間）

以上